



とちぎマイスター「機械・プラント製図（機械製図CAD作業）」の技能の例

精密測定機器用の加工・組立設備の構想検討・設計

もてぎ まさゆき

茂木 正幸

宇都宮市 在住

(株)ミットヨ宇都宮事業所 設備技術部 (Tel. 028-656-1111(総務部))

精密測定機器用の加工・組立設備 高精度及び 自動化への対応

(現在の仕事)

精密測定機器(ノギス・三次元測定機・リニアスケール)の生産技術部門に従事して、加工・組立工程における設備・治具の設計業務を担当している。

(得意な分野)

担当した生産設備の一例として、ノギス用の研削盤とリニアスケール用の測長機が挙げられる。

これらの実績から工作機械や測長機に応用されるサブミクロンの精密位置決め構想設計の知識・技術を有している。また、空気圧機器を用いて材料の供給・搬出含めた設備の自動化を得意としている。

幅広い機械工学知識を深めて製図処理能力を向上させる

ものづくりの流れは企画→設計→試作→量産というプロセスで一般的に行われます。

機械・プラント製図担当が行う業務はものづくりの上流側に位置し、図面作成により必要十分な情報を伝達する必要があります。構成部品の設計の際は、形状を

決定する上で機械加工の知識が不可欠になり、組立調整の時には仕上げの知識が必要になります。また、製図作業ではJISの最新知識に基づき、短時間で図面化の処理行う実務能力も必要とされています。

そのため、若手設計者には幅広い機械工学知識の向上と製図処理能力に日々磨きをかけてもらいたいと思います。

